

2016年度 業績集

【学会発表】

1. 立田協太, 麻喜幹博, 増田崇光
意識障害の鑑別に詳細な病歴聴取が有効であった **Refeeding** 症候群の一例
第 66 回日本救急医学会関東地方会. 平成 28 年 2 月 6 日. 東京
2. 前田流美, 麻喜幹博, 増田崇光
腹部自覚症状のない高齢者の上腸間膜動脈塞栓症の一症例
第 66 回日本救急医学会関東地方会. 平成 28 年 2 月 6 日. 東京
3. 増田崇光, 他
止血系分子マーカーの敗血症性凝固線溶系障害の診断に関する有用性の検討
第 16 回 TTM フォーラム. 平成 28 年 3 月 5 日. 東京
4. 麻喜幹博, 増田崇光, 三木靖雄, 関谷洋. 地方市中病院における ECPR の開始と取り組み. 第 19 回日本臨床救急医学会学術集会. 平成 28 年 5 月 13 日. 福島
5. 麻喜幹博, 内藤昭貴, 小林亜紀, 甲斐貴彦, 徳増芳則, 中村淳, 阿部信, 渡邊明規. ECPR により神経学的予後良好に回復した急性心筋梗塞の一例. 第 147 回日本循環器学会東海地方会. 平成 28 年 6 月 11 日. 浜松.
6. 石川励, 麻喜幹博, 増田崇光, 三木靖雄, 関谷洋. 救命困難な重症頭部外傷で救急搬送され, 迅速に心停止下臓器提供を行った一例. 第 27 回志太榛原救急医療研究会. 平成 28 年 6 月 18 日. 牧之原.
7. 山森温, 麻喜幹博, 増田崇光, 三木靖雄, 堤将輝. 脳ヘルニアを伴う小児重症脳出血の急性期治療介入について. 第 30 回日本小児救急医学会学術集会. 平成 28 年 7 月 1 日. 仙台.
8. 豊田吉満, 麻喜幹博, 増田崇光, 三木靖雄. 院外心停止蘇生後, 低体温療法中に原因不明に前頸部皮下出血を来した一例. 第 25 回日本集中治療医学会関東甲信越地方会. 平成 28 年 8 月 20 日. 東京.
9. 三木靖雄, 他. 愛知県ドクターヘリコプター e-ラーニングシステムの立ち上げ. 第 23 回航空医療学会総会. 平成 28 年 10 月 28 日. 埼玉

10. 増田崇光、麻喜幹博、三木靖雄、他。急性期 DIC 診断基準と新 DIC 診断基準と soluble fibrin の患者の転帰に関する検討。第 44 回救急医学会総会。平成 28 年 11 月 18 日。東京。
11. 石川励、麻喜幹博、増田崇光、三木靖雄。救命困難な重症頭部外傷で救急搬送され、迅速に心停止下腎移植を行った一例。第 19 回日本救急医学会中部地方会。平成 28 年 12 月 3 日。愛知。
12. 福田彩、麻喜幹博、増田崇光、三木靖雄。左下肢の間欠的な痺れのみで発症した急性下肢動脈塞栓症の一例。第 19 回日本救急医学会中部地方会。平成 28 年 12 月 3 日。愛知。
13. 稲垣圭佑、麻喜幹博、増田崇光、三木靖雄。胸背部まで放散する頸部痛を認め診断に苦慮した脊髄硬膜外血腫の一例。第 19 回日本救急医学会中部地方会。平成 28 年 12 月 3 日。愛知。
14. 實石光歩、越淵玲子、増田崇光。中学生を対象とした防災・減災教育。第 22 回日本集団災害医学会学術集会。平成 29 年 2 月 14 日。愛知。
15. 麻喜幹博、増田崇光、三木靖雄、閨谷洋。当院救急センターに搬送された院外心停止症例の生存例の特徴。第 44 回日本集中治療医学会学術集会。平成 29 年 3 月 9 日。札幌。
16. 松山周平、麻喜幹博、増田崇光、三木靖雄。出血傾向を背景に発症した硬膜内、硬膜外血腫の 2 例。第 44 回日本集中治療医学会学術集会。平成 29 年 3 月 10 日。札幌。
17. 高平香、越淵玲子、伊藤聖乃、實石光歩、麻喜幹博、増田崇光、三木靖雄。救命救急センターに向けて新開設した救急病棟における看護師の教育と看護体制の構築。第 44 回日本集中治療医学会学術集会。平成 29 年 3 月 11 日。札幌。

【講演】

1. 増田崇光:敗血症の早期診断。第 243 回藤枝学術カンファレンス。平成 28 年 9 月 5 日。藤枝。

【論文発表】

1. 麻喜幹博、他：三次救急医療施設で経験した急性心筋炎 18 例の治療成績. 日本集中治療医学会雑誌 23 巻 6 号 2016 年 11 月号
2. 増田崇光、他：止血系分子マーカーの敗血症性凝固線溶系障害の診断に関する有用性の検討. TTM フォーラム記録集 2016 年 12 月号
3. 麻喜幹博、他：院外心停止における体外循環式心肺蘇生(ECPR)症例 23 例の検討～初期波形「ショック非適応波形」に対する ECPR の可能性～. 心臓 vol. No.5. 2017 年 5 月号掲載予定
4. 立田協太、麻喜幹博、増田崇光：意識障害の鑑別に詳細な病歴聴取が有効であった Refeeding 症候群の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 掲載予定